

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年5月6日

事業所名 Luca's house (ルカズハウス)

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|------------------------------------|--|-----------------------|-----------------------|----------------------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | <input type="radio"/> | | 勉強など個人課題に集中して取り組めるよう配慮しています。 | 学習室と訓練室があり、利用者の用途に応じて部屋を使用していただいている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | <input type="radio"/> | | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | <input type="radio"/> | | 階段には滑り止めを引き、角にはクッションガードを取り付けている。 | フロアの床が滑りやすいため、来所時は靴下を脱いでもらい、転倒を防ぐようにしている。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | <input type="radio"/> | | | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | <input type="radio"/> | | | 年に1~2回保護者様よりご意見をいただき、管理者から職員へ内容を共有し、業務改善へ努めている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | <input type="radio"/> | | 常時、当社のホームページにて閲覧できる。 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | <input type="radio"/> | | |
| 適切な支援の提供 | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | <input type="radio"/> | | | コロナ禍のためリモートにて社内研修を行っている。社外研修にもできるだけ参加をしている。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | <input type="radio"/> | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | <input type="radio"/> | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | <input type="radio"/> | | 講師と職員で連携を取っている。 | 英会話・音楽療法・造形教室・体操教室などを行っている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | <input type="radio"/> | | | 毎月の行事イベントに加え、クッキング等を取り入れながら、各自の個別課題を作成し行っていただいている。また、特化プログラムに関しては、講師と連携し様々な経験ができるようなプログラムを考察していただいている。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | <input type="radio"/> | | | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | <input type="radio"/> | | | 公文式学習や自主学習などを個別活動とし、クッキングや造形教室等を集団活動として計画を作成している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | <input type="radio"/> | | | 朝礼時などミーティング形式で行っている。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | <input type="radio"/> | | | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | <input type="radio"/> | | 支援経過記録を作成している。 | |
| | 18 | 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | <input type="radio"/> | | | 半年に1回、状況に応じて適宜行っている。 |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | <input type="radio"/> | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|-----------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | 児童発達支援管理責任と児童指導員の中からその利用者のキーパーソンになっている職員が参加をしている。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | 下校時間など情報交換を積極的に行っている。 | 地域の学校に通われている利用者が多いため、学校の教員と密に連絡を取り合っている。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | ○ | | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | 次の生活に向けて、相談支援事業所等と積極的に連携をとりながら情報の提供を行っている。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | | コロナ禍のため現在はありませんが、コロナが落ち着いたら外遊びなど交流できる機会の再開を考えている。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | ○ | | | リモート会議等に参加をしている。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 些細な事でも保護者へ伝え、密に連絡を取り合っている。 |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 契約時など必要に応じて丁寧に説明を行っている。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 相談支援事業所と連携を取りながら保護者の悩み相談に適切な対応をとれるようにしている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | コロナ禍のため現在はありませんが、コロナが落ち着いたら遠足など交流できる機会の再開を考えている。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 毎月Facebookにて施設内の様子を配信している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | コロナウィルスの情報など保健所や市役所と連携を取りながら情報の共有を行っている。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 簡単なマニュアルを作成し、毎年1～2回施設内訓練を実施している。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | 現在、身体拘束を行う場面や身体拘束を必要とする利用者はいませんが、必要時はマニュアルを使用しながら適切に対応を行う。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | 一覧表を見やすい場所へ掲示している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | |